



(一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会

2022年10月1日

神奈川支部

〒231-0026 横浜市中区寿町1-4

神奈川労働プラザ7F

Tel・Fax 045-633-3618

支部ニュース

日本労働安全衛生コンサルタント会は、
労働者の安全衛生水準の向上に寄与することを目的にしています。

発行責任者
吉久 功三

| | | | |
|---|------------------|----------------|--------------|
| 目 | ○ 支部定期総会報告 P1-P3 | ○ 事業部会報告 P4 | ○ 総務委員会報告 P5 |
| 次 | ○ 研修委員会報告 P6 | ○ 全国支部長会議報告 P7 | ○ 表彰者のご紹介 P8 |

令和4年度 神奈川支部定期総会開催される

【対面とオンライン併用方式にて】

令和4年6月17日(金)「かながわ労働プラザ」において支部定期総会が開催されました。今年度は昨年度と同様に、従来の対面による参加と Zoom のオンラインによる参加の両方の方式を用いて、審議が行われました。

開催に先立ち、鈴木事務局長より、支部規定第8条第5項(正会員数の3分の1以上で成立)に対して、会場出席19名、オンライン参加11名、委任状14名、議決権行使56名の合計100名で、正会員数(178名)の3分の1(60名)以上となり、本総会が成立したと報告されました。

総会は、藤原副支部長の司会で始まり、最初に吉久支部長からコロナ禍における現在の活動状況と今後の支部活動の発展に向けての次のメッセージを頂きました。

『2020年1月に発生した新型コロナウイルス感染症は、現時点で2年半が経過していますが、まだ完全な収束に至っていません。本年4月の時点で今年の総会をどのように開催するかを検討した際には、開催時点でのコロナの感染状態が想定できなかったため、今回も全員の対面参加方式でなく最小限の対面参加とオンライン参加の両方の方式で開催することにいたしました。

私は2年前に支部長に就任しましたが、その時

は書面開催で選出されました。その後の支部としての活動は、問題なく運用されています。その結果として、特別部費については、ここ2年は200万円を超える実績をあげており、繰越金も順調に増加しております。

一方、労働災害の発生状況について、5月末に発表された確定値によると、労災による死亡者および休業4日以上死傷者は、昨年と比べると大幅に増加しています。このような背景の中で、我々労働安全・衛生コンサルタントの活躍する場が大いにあると感じていますので、頑張ってコンサルタント活動を進めていきたいと考えています。そして、今後コロナ禍が収束すれば、支部の研修会が、以前と同様な形態で開催できれば良いと考えております。なお、今回の支部総会は、支部役員の選出という節目に当たっていますので、よろしくご審議の程をお願い致します。』

次に、総会の式次第に準じて、第一号議案(令和3年度事業報告)及び第二号議案(令和3年度収支決算)の審議が行われ、満場一致で承認されました。続いて提案された令和4年度事業計画及び収支予算についても同様に満場一致で承認されました。

総会全体の説明内容について、次のような質疑回答が行われました。

質問[1]:神奈川支部におけるコンサル業務では、技術の伝承・維持・発展が必要と考えています。特に、コンサルタント会は個人の集合体で会社組織と比べても、また定年後の方が多く高齢化が進んでおり、コンサル業務技術の継承・維持・発展は難しいのではないかと思います。どのような施策・活動を考えられていますか。(菊西会員)

[回答]:支部の高齢化は進んでおり、現在80歳以上の方が約19%で約5人に1人は80歳以上となっています。支部が継続的に発展していくためには、事業部会の活性化が不可欠で、そのためには、コンサル業務技術の伝承・維持・発展も必須です。現在、65歳の定年後に事業部会に入られる方が多いですが、それでは直ぐにコンサル業務をスタートアップできないと思います。やはり、技術の習得にはOJTで約3年程度は必要ではないか思います。今後は、60歳以上の方は会社に在籍されたままでもいいので事業部会に入会していただき、少しでもコンサルタント会の優秀な方々からコンサル業務のノウハウ等を学んでいただきたいと考えています。

質問[2]:令和4年度事業計画のなかで、「事業部会会員の新規加入者を対象としたコンサルタントとしての仕事の進め方をOJTにより指導を行う」と記載されていますが、ここ2年間の実施状況と実務未経験者が実務を体得する方法について教えてください。(黒川会員)

回答[その1]:OJT教育については、一つは座学での研修があります。二つ目は神奈川労働局主催の「フルハーネスの安全帯の教育」に参加してもらっています。これは座学に加えて実際に胴ベルトやフルハーネス安全帯を装着して体験してもらっています。

回答[その2]:また、実務未経験者への教育方法については、次の二つの事例があります。一つ目は、安特・衛特の公募に際しては、ベテラン会員に加えて、未経験者を優先して採用することになっています。これは、先輩のベテラン会員と一緒に仕事をする良い経験ですので、是非積極的に応募してください。二つ目は、一般公募の場合に、客先の了解が得られた時には、OJTとして未経験者に入らせていただくことも行っています。この場合には、主担当でなく、補助として参加する形態になりますが、是非経験してみてください。

回答[その3]:更に、最近実施されていませんが、支部研修会の終了後に行われる情報交換会(懇親会)についても、仕事に関する有益な情報が得られる良い機会です。今後この情報交換会が再開されたら、是非参加してみてください。

引き続き、第3号議案の「令和4・5年度支部役員選出に関する件」について、現幹事により役員候補者の審議が実施され全員が承認されました。そして新たに選任された新幹事により第一回目の幹事会が実施され、P3に示す新執行部の編成が、全員一致で承認されました。

最後に再任されました吉久支部長から、就任のご挨拶を頂きました。

《吉久支部長挨拶》

『2年前に支部長に選任された際には、書面での開催でしたので、新しく支部長になったにもかかわらず挨拶もなく就任しましたが、今回初めての挨拶を致します。コロナ禍によりこの2年間は、皆様と集まった懇親会が開催出来ず、十分なコミュニケーションができませんでした。しかし、このコロナ禍の中でも、支部の活動としては順調に推移しています。この辺を支部の財政推移のグラフを見ながら説明します。平成20年から令和3年までの事業部の特別部費の推移を見てみますと、平成20年から平成26年にかけては繰越金が殆どない状態で、いわ

ゆる低迷期でありました。その後、中村前々支部長のご指導により上昇傾向になっており、特別部費が年々伸びてきています。現在は、約200万円を超える金額が計上されており順調に推移してきています。3年後には支部開設50周年を迎えますので、増加してきた繰越金を何らかの形で使用して、記念行事を行いたいと考えています。

今後は、オミクロン株以上感染力の強いウィルスが出てなければそのうちコロナ禍は収束すると思いますので、その時期にはまた、懇親会も再開して新しい会員とのコミュニケーションを図っていき活性化

化したいと思います。

私自身の経験からするとコンサルタントの資格を持っているだけでは、なかなかお客様への十分な指導ができないと思っています。このため、先輩の会員から教えてもらいながら仕事の進め方を覚えていって欲しいと思います。これから2年間、また気を入れて頑張っていきますので、皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。』

以上の支部長の就任挨拶を持ちまして、滞りなく令和4年度の支部総会が終了致しました。



総会開催写真〔会場参加者〕



総会開催写真〔オンライン参加者〕

- 【令和4・5年度 神奈川支部役員】**
- 支部長 吉久 功三 (安全・電気)
- 副支部長 赤松 由通 (安全・土木)
藤原 政志 (衛生・工学)
竹内 春樹 (安全・機械)
- 常任幹事 矢崎 麻純 (衛生・保健)
内沼 創一郎 (安全・電気)
田村 紀裕 (安全・化学、衛生・工学)
大塚 重男 (安全・土木)
菊西 延至 (安全・建築)

- 幹事 秋葉 雅夫 (衛生・保健)
石塚 淳子 (衛生・保健)
大谷 忠治 (安全・土木)
木津 宏一 (安全・土木)
櫻澤 博文 (衛生・保健)
田中 敏夫 (安全・土木)
西本 典弘 (安全・土木)
久富 美紀子 (衛生・保健)
古河 泰 (衛生・保健)
水上 隆男 (安全・土木)
山下 和雄 (安全・土木)
- 支部監事 秋谷 泰男 (安全・化学、衛生・工学)
前山 勝己 (安全・土木)
- 相談役 森山 哲 (安全・電気)
- (下線は、新任の役員)

【事業部会報告】

副支部長・事業部会長
藤原 政志

令和4年度、5年度の事業部会・部会長の職務を担当することになりました藤原政志と申します。

はじめに、事業部会メンバーの紹介を行います。

副部会長に大塚重男常任幹事、メンバーとして矢崎麻純常任幹事、田村紀裕常任幹事、田中敏夫幹事、久富美紀子幹事、山下和雄幹事の7名体制で「事業部会運営要領」に沿って活動を推進していきます。

《公募件数の推移》

支部に相談があり、公募対象となった受託事業の直近3年間の推移を図-1に示します。

2020年度は26件、2021年度は23件、8月末時点では2020年度は12件、2021年度は16件、そして2022年度は9件です。事業者から期の前半に以前は要求がありましたが、今年度依頼の無い活動に「安全講話」、「特別教育」等があります。

多くの企業では、従業員に安全意識を高めてもらうことを目的として年中行事の一環で安全衛生の

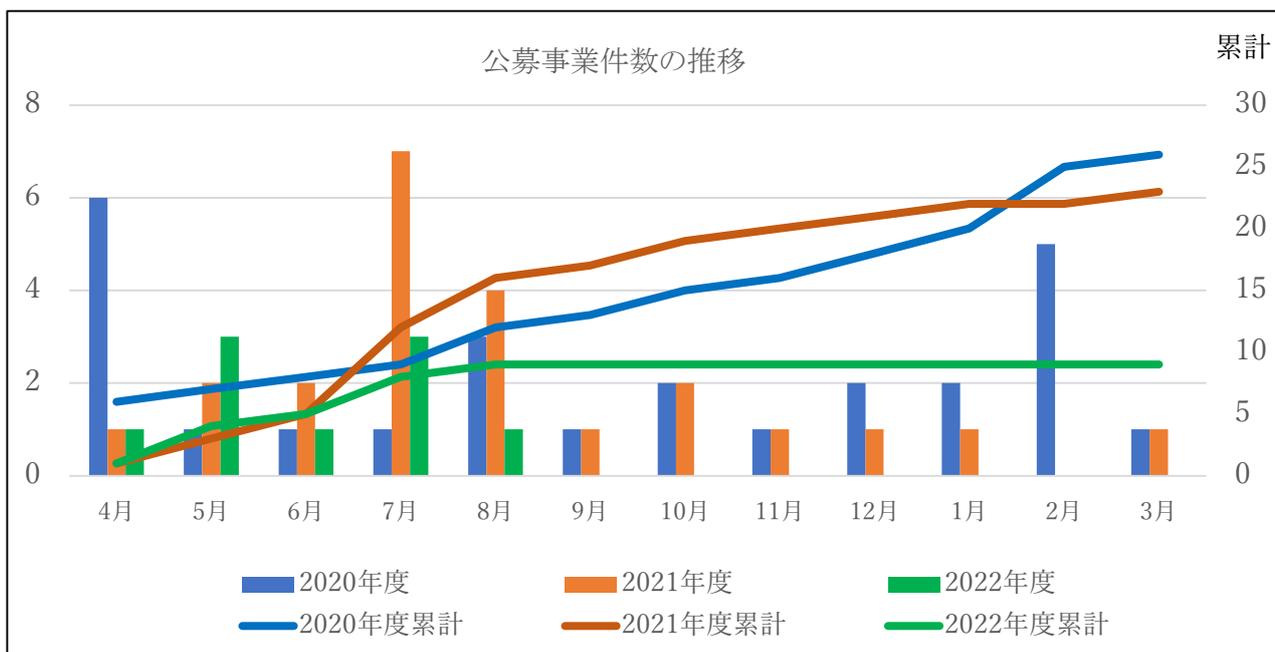
専門家を招いて「安全講話」の場を設けていました。それが、新型コロナウイルスの影響で働き方が変わり、安全衛生活動にも変化が表れています。

現在、支部に業務支援の相談があり、公募には至っていない2件について御紹介します。

- ① 労働安全衛生等の法改正が行われたとき、自社の事業活動で対応の要否の判断と必要な場合の展開方法について
- ② 現在使用している生産設備が、労働安全衛生規則でどのような遵守義務があるのか、また、システマ的に行い漏れないようにする方法について

上記2点の相談は、何れも製造業からです。労働安全衛生に関して企業等が当支部に期待して支援を依頼する内容も3年前とは変わってきているようです。

化学物質の管理方法も関係法令が改正され、現在の法規制型から自律管理型への移行も行われています。当支部の事業活動も状況に応じて対応できる柔軟さを身に付け、変化する顧客の要求に応じられる能力を強化するため、研修委員会と協同で支部活動の活性化を図っていきます。



【図-1】

【総務委員会報告】

副支部長・総務委員長
赤松 由通

6月17日神奈川支部総会で承認されて活動している副支部長兼総務委員会長の赤松由通です。前期まで、事業部会長に従事していました。前担当の先輩先生方等にご指導いただきながら活動してまいりますので、支部会員皆様のご協力をお願いいたします

総務委員会での主たる業務に「定例会議の開催」がありますが、今年度の活動もオンライン併用の開催予定です。(6月に開催されました支部定期総会も対面とオンライン併用の開催となりました。)

なお、中断していた支部研修会は再開する予定で、今年度は、年度末までに5回開催しますので積極的な参加を希望します。対面とオンライン併用となりますが、コロナ禍の影響を見ながら開催方法を決めていきます。(研修委員長と協議しながら実施)

総務委員会関係の業務活動状況は以下の表の通りです。

①オンラインによる定例会議の開催

定例会議は、Zoom によるオンライン方式併用の会議方式で開催するようになります。(常任幹事会、幹事会の承認済です。)

②支部財務の見通し

支部会員数は8月末で、186名(4月以降入会者11名、退会者3名含む転出)、事業部会会員数は、44名(安全29名、衛生12名、共有3名)となっています。コロナ禍にあつて、安全衛生診断・相談等の顧客先からの依頼件数に不明確な点がありますが、外部への積極的な活動を行なっていく支部収益を維持して行きたいと考えています。

③ 支部ホームページ(HP)運用管理

神奈川支部 HP は、引き続き HP 委員を中心に日々情報提供の適宜な更新に努め、活きた情報提供サイトを目指し運営して行きます。

④ 事務所 IT 環境整備

事務局情報のクラウド化による新たな業務の進め方(リモートワーク、情報共有等)についても試行、導入して行く考えです。

《令和4年度 常任幹事会・幹事会・研修会の日程》

| | | |
|---------------|-------------|---------------|
| 令和4年6月17日(金) | 令和4年度支部定期総会 | 第1回幹事会 |
| 令和4年7月9日(土) | 第1回常任幹事会 | |
| 令和4年7月23日(土) | | 第2回幹事会 |
| 令和4年9月3日(土) | 第2回常任幹事会 | 第3回幹事会、第1回研修会 |
| 令和4年10月15日(土) | 第3回常任幹事会 | 第2回研修会 |
| 令和4年12月3日(土) | 第4回常任幹事会 | 第3回研修会 |
| 令和5年1月14日(土) | 第5回常任幹事会 | 第4回幹事会、第4回研修会 |
| 令和5年3月11日(土) | 第6回常任幹事会 | 第5回研修会 |
| 令和5年4月15日(土) | 第7回常任幹事会 | 第5回幹事会 |
| 令和5年6月16日(金) | 令和5年度支部定期総会 | |

【研修委員会報告】

副支部長・研修委員長
竹内 春樹

このたび藤原副支部長の後を引き継ぎ、令和4・5年度の研修委員会委員長に任命されました竹内春樹です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、労働安全コンサルタント(機械)になり、神奈川支部・事業部に入会・入部して6年目になります。入会・入部当初は、自分が労働安全コンサルタントとしての業務をうまくできるのか不安でした。また支部のコンサルタントの皆様がどのような活動をされているのか等々よくわかりませんでした。しかし、支部の研修会や新入会員・事業部会員向けの研修会等に参加することで、徐々にそれら不安や疑問が払拭されたことを記憶しています。また、それからの研修会でも労働安全衛生コンサルタントの諸先輩方や外部からの講師のお話しや情報交換の場から多くのことを学んできました。

さて、令和2年の新型コロナウイルス発生以来、研修会も制限され思うような活動ができない状況になっています。そのような中、令和3年度は見学会は行なわれませんでした。研修会は新しく Zoom を利用したオンラインによる参加方式で4回開催されました。

そこで今年度の支部研修ですが、依然新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、かつ今後の見通しもつかない状況であることから、見学会は中止とし、研修会の参加方式は基本的には対面式としますが、当面は(対面+オンライン)方式で開催したいと考えております。

労働安全衛生コンサルタントには、関係法令を含めた一定の知識のほか、労働安全・労働衛生診断の指導のポイントなどその実務に必要なコンサルティング能力が求められます。

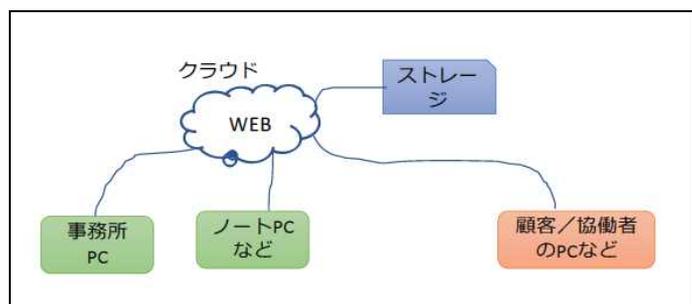
このコンサルティング能力とは、分析力、提案力及びコミュニケーション能力と言われております。これら能力を身につけ更に向上させるためには、様々な機会を捉えての自己研鑽・能力開発が欠かせないと思いますが、能力開発は単独では難しい点もあります。当支部での今年の研修会では、特にこの能力開発のきっかけとなるテーマを取り上げ、皆様にその機会を提供したいと考えております。また、情報交換の場も非常に有益と思っておりますので、状況を見て出来る限り情報交換が出来る場も設けたいと思います。

以上、かつての私自身が経験したような参加される方にとって有益となる研修を提供したいと考えておりますので、皆様、積極的にご参加下さるようお願いいたします。

《研修会の予定(対面+オンライン方式)》

| | |
|-----|--------------------|
| 第1回 | 令和4年 9月 3日(土) 午後 |
| 第2回 | 令和4年 10月 15日(土) 午後 |
| 第3回 | 令和4年 12月 3日(土) 午後 |
| 第4回 | 令和5年 1月 14日(土) 午後 |
| 第5回 | 令和5年 3月 11日(土) 午後 |

「第1回支部研修会より」(令和4年9月3日開催)
「コンサル業務に役立つ、ITスキル(初級・中級編)」
～クラウドストレージの導入と業務活用について～
(講師：内沼創一朗支部会員)



【全国支部長会議報告】

支部長 吉久 功三

日本労働安全衛生コンサルタント会の全国支部長会議が7月19日(火)に3年ぶりに開かれました。私が2年前に支部長に就任して以来、この2年間は新型コロナウイルスの影響により中止が続いていました。今年度は、田町にある建築会館ホールでの対面とZoomによるオンライン併用での開催となりました。会場参加は25支部、オンラインでの参加は18支部でした。今回の様なやり方は、本部としても初めての試みでトラブルが心配されましたが、大きな問題もなく終了しました。

コロナ禍ということで例年行われていた懇親会はなく、会議も2時間に短縮して行われました。会議は最初に、今年6月の本会総会で就任された三浦新会長(北海道支部)からの挨拶から始まりました。三浦会長は、会長就任に当たっての挨拶の中で、「当会の最大のミッションは、コンサルタントとしての品位の保持、資質の向上、業務改善である。このミッションを遂行するために本部から支部長に情報を伝達し、それを支部内に展開することが、当会の活動に極めて重要である。」と述べられました。この他三浦会長の考えておられることは、本会の機関誌最新号(No.143号:令和4年7月20日発行)に掲載されていますので、一読ください。

この後、来賓の厚生労働者の美濃安全衛生部長の挨拶に引き続き、今年の6月から高橋専務理事の後を受けて就任された田中新専務理事からは次のような挨拶がありました。「コンサルタント会のミッションを認識しての活動を行っていく。支部との連携を強化してミッションを遂行していく。また、重点的な取り組みとしては、

- 1) 会員の活動の促進、量の拡大に注力していく
- 2) 行政との連携を図り、コンサルタント活動の拡大を図っていく
- 3) 第14次労働災害防止計画での当会の位置づけの向上を図り、存在感をアップさせていく

以上の挨拶の後、特別講演として、本部顧問弁護士の上野弁護士より「パワハラ防止対策について」と、大阪支部と福岡支部より「WEB会議・研修会の活用について」の事例発表がありました。

最後に、本部の加藤次長と山本課長より、「会務の実施状況について」の説明がありました。

今回の支部長会議は時間が短く、懇親会もなく他の支部との意見交換もできませんでした。そのため、他支部がコロナ禍の中でどのような活動をしているか聞く機会がありませんでしたが、どの支部もコロナ禍で活動が停滞し、活動には大変苦勞をされている様子でした。

幸い神奈川支部は、コロナ禍の中、過去の繰越金を食いつぶすことなく活動できていますが、新しく支部に入って来られた方とのコミュニケーションを取る場がなく、新入会員のコンサルタントとしての育成が重要な課題だと考えています。

今後共支部活動へのご協力、ご支援を賜りますようお願い致します。

【参 考】全国支部長会議次第

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 昼食会 | (12:00～13:00) |
| 1 開会の辞 | (13:00 開会) |
| 2 会長挨拶 | |
| 3 厚労省挨拶 | |
| 4 専務理事挨拶 | |
| 5 出席者紹介(出席者名簿資料配布による紹介) | |
| 6 特別講演 本部顧問弁護士 石上尚弘殿 | |
| 演題「パワハラ防止対策について」 | |
| 7 支部におけるWEB会議・研修会の活用について | |
| 活用事例発表 | |
| 大阪支部、福岡支部 | |
| 8 会務の実施状況について | |
| ・令和4年度 事業実施状況 | |
| ・支部統合後の業務関係 | |
| ・委託事業関係他 | |
| 9 質疑応答その他 | |
| 10 閉会の辞 | (15:00 終了) |

令和4年度 表彰者のご紹介

令和4年6月22日(水)に学士会館にて開催された日本労働安全衛生コンサルタント会の定時総会において「西本 典弘会員」が、会長表彰を受賞されました。

【表彰「会長功績賞」受賞に当たり】

皆様からの多年に至るご指導の賜物として、この度、栄えある「会長功績賞」を受賞したことを報告いたします。

〈試験合格から、現在に至るまで〉



試験(土木安全)合格は平成13年、登録は平成14年で、入会は平成15年です。当時の麿嶋支部長他の先生方にご指導頂いて、作業現場での診断指導や業務改善提案等が少しずつ分かり始めてきました。

少し図々しい性格を利用して、前述の先生方、受託事業所や監督署を頻繁に訪問して諸々のことを会得させていただきました。以後は、現場指導に専念してきました。その結果、頭の中での理解ではなく、汗水流して体で会得したものの方が有用であることが分かりました。

〈座右の銘〉

平成17年ごろ読んだ歴史書に、「万事を慎み、願うところを満たせよ(源頼信・平安時代中期の武将で、今年の大河ドラマに登場している源頼朝の六代前の祖先です)」との言葉が心に残りました。

作業中のあらゆるリスクを洗い出して無災害状態を維持するリスクアセスメントの考え方にも通じるものがあると思われ、パワハラ等の労働相談でも応用できる考え方と思っています。

(前監事)西本 典弘

《神奈川支部会員、事業部会員の皆様へのお願い》

知人・友人・後輩等の中で労働安全衛生コンサルタントの資格を有している方がおられましたら、是非神奈川支部への入会、支部事業部会入部の声掛けを、また紹介情報でも結構ですので、よろしくお願いいたします。

事業部会 部会長 藤原 政志

《編集後記》

令和4年度より、支部ニュースを担当いたしました。今回の45号は、6月17日(金)に開催された支部定期総会の内容を中心に、事業部会、総務委員会、研修委員会の活動方針等で編成しました。また、3年ぶりに開催された全国支部長会議について、支部長より特別寄稿を頂きました。

今年度の研修会は、オンライン併用ではありますが、年5回の開催が予定されています。研修会は、研鑽とコミュニケーションの絶好の機会ですので、多くの会員の参加を期待しております。

初めての編集でしたので、うまくできたか不安です。多くの会員の皆様から、ご意見とご感想をお待ちしております。

(編集委員一同)